

科目名	財務会計基礎			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2	
担当教員	生島 和樹			
内容および計画	財務会計が対象とする会計情報の公表は現代社会の経済にとって重要な役割を占める。それは投資を行う者にとって企業を判断するための材料になるためである。会計情報はいわば対象物を映す鏡のような道具であるといえ、その鏡が曇っていると情報は正しく伝えられずに社会全体が混乱することとなる。では、鏡が曇っていると何を尺度に判断するのだろうか。正しい会計処理とよく耳にすることがあると思うが、本当に正しいのだろうか。本講義では、財務会計の基礎となる各構成要素の認識、測定、それを支える考え方を解説することにより、会計情報が社会のシステムとして存在できていることの意味を理解してもらう。授業の進め方は、テキストおよび配布するレジュメを用いた講義形式で行う。この講義を受講することにより簿記で行っている仕訳を財務会計と関係づけることができる。			
1	ガイダンスー会計の種類と役割ー			
2	財務会計の法規制とその役割			
3	財務会計のシステムと利益計算構造			
4	複式簿記における利益計算（1）損益計算書と利益計算			
5	複式簿記における利益計算（2）貸借対照表と利益計算			
6	株式会社の設立/小テスト			
7	企業の資金調達方法および社債			
8	営業循環と棚卸資産			
9	製品の製造原価の計算			
10	売上認識と測定			
11	売上原価の計算と棚卸資産の期末評価			
12	有形固定資産の取得原価とその償却方法			
13	固定資産の減損			
14	研究開発活動と無形固定資産			
15	財務会計のこれからー会計基準の国際化についてー			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	財務会計・入門 第16版	桜井久勝・須田一幸	有斐閣アルマ	2023
参考書	桜井久勝『財務会計講義（第24版）』中央経済社，2023年（ISBN：9784502460616）			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	小テスト			30
	期末レポート			70
小テストで講義の理解度を測定するとともに、期末においては講義で取り扱った財務会計の論点をテーマとしたレポートを提出				

してもらう。	
学習到達目標	(1) 会計情報の社会での役割を述べるようになる。 (2) 各構成要素の意味から発展的な個別論点を調べるようになる。 (3) 簿記における仕訳について意味を考えた討議ができるようになる。
先修条件	特になし。ただし、会計学や簿記に関連する科目を履修済み・履修していることが望ましい。
実務経験	実務経験なし。
その他	講義のはじめにレジユメを配布する。また、計算を行う場面もあるので電卓を持参してくることが望ましい。